

Rotary



白河西ロータリークラブ

SHIRAKAWA WEST ROTARY CLUB

創立 1986 年

2022～2023年度クラブ目標

『想像しよう、未来のロータリー
創造しよう、これからのクラブ』



イマジン
ロータリー

会長 高 畠 裕
幹事 車 田 裕 介



2022～23年度国際ロータリーテーマ

第1744回例会

令和5年1月26日(18:30～19:30)

○スマイルBOX

- 高畠裕会長（先週の移動例会に参加された皆様、ありがとうございました。また、今週は西RC主催の音楽の祭典がありますので、参加よろしく願いいたします。今後とも地域の為に奉仕をしていきましょう。）
- 仁平喜代治会員（明けましておめでとうございます。結婚記念日の祝いをいただきありがとうございます。）
- 永野文雄会員（寒い日が続きます。元気に例会出席しました。）
- 安部和夫会員（とりあえず。）
- 宮本多可夫会員（大寒波・冬真っ盛りですが、身体に気を付けていきましょう。）
- 金田昇会員（食育例会はとても良い経験をさせていただきました。子供たちの「ごちそうさまでした」が最高のご褒美になりました。）
- 藤田和克会員（職業奉仕やコロナ感染などがあり、今年初出席です。今年もよろしく願いいたします。）
- 運天直人会員（次回例会は市長をお迎えしての新年会例会が行われます。このところスマイルが少ない様に感じましたので、次回の皆様の多くのスマイルをお願いしてスマイルいたします。）



白河西ロータリークラブ プレゼンツ
白河第一・第二小学校による音楽の祭典
日時：令和5年1月28日
場所：白河文化交流館 コミネス大ホール



▶第1744回例会出席状況 (R5年1月26日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	51名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	14名
Ⓓ 全正会員数	65名
Ⓒ ①の出席者数	21名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	1名
Ⓕ ②の出席者数	10名
Ⓖ = ③ + ④ + ⑤ (メイクアップ補填後の出席会員数)	32名
Ⓗ = ⑥ - (⑦ - ⑧)	61
Ⓘ = ⑥ / ⑨ × 100 (例会出席率)	52.4%

▶例会日：第1・第3木曜日(12:30) その他の木曜日(18:30～19:30)

▶例会場：白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河

▶事務局：〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5(白河商工会議所内) ☎23-3101 FAX22-1300

本日のプログラム

■会長の時間



高島裕会長

皆さん、こんばんは。本日はお足元の悪い中、例会のほうに参加をいただきまして本当にありがとうございます。年も明けまして、私と車田幹事も残り半分になってまいりました。大体、我々も中だるみがそろそろしそかなと思う頃に先週の食育事業があったり、また、今週土曜日の西クラブ主催の音楽の祭典があったりということで、ダレダレを防止するという感じでは丁度いいイベントが続いてるのかなと感じております。昨日は白河地方も雪に見舞われまして、というよりは10年来の大寒波というふうな前置きで心配しましたが、今回は雪というよりは寒さのほうでちょっと被害があったのかなと感じております。皆さんの企業、そしてご自宅のほうは大丈夫だったのでしょうか。ということで、今日は本来であれば合同新年会が今月末か来月頭にあったはずなんです、そちらがなくなりました。そこで一つ空いてしまったということで、今日は先週行われました食育事業、こちらに関して参加出来なかった会員の方もいらっしゃると思いますので、その意味も含めて報告会という形で時間を取らせていただきました。今日は足元が悪いということで出席人数が少ないんだと思うんですが、やはり会長幹事としましては、ちょっと人数が少ないと我々の人気の表れでこんな感じになってしまってるのかなと思いますので、極力今後もご参加いただければありがたいなと思っております。簡単ではございますが、会長の時間この辺にして後程先週の食育事業の報告会をさせていただきます。本日もどうぞよろしくお願いいたします。

■幹事報告



車田裕介幹事

○白河ユネスコ協会会長 小野利廣：令和4年度だるま市街頭募金の開催について（通知）

○ロータリー日本財団：確定申告寄付金領収書送付のご案内

○ロータリー日本財団：ロータリー定期寄付の推進をご支援ください

○2530地区研修委員会委員長 石黒秀司：第2回研修委員会セミナー（CLPを理解し、実践する）開催告知

○ガバナー 佐藤正道、ガバナーエレクト 右近八郎、地区研修リーダー 石黒秀司：地区チーム研修セミナーのご案内

○比国育英会バギオ基金会長 浅田豊久、幹事 酒井教吉：「バギオだより」配布のお願い

○ガバナー 佐藤正道、地区研修リーダー 石黒秀司：2022-23年度2530地区第2回研修委員会セミナー開催のご案内

○白河南ロータリークラブ会長 箕輪正男：白河南ロータリークラブ週報の送付について

■委員会報告

○青少年奉仕委員会

堀田一彦委員長



皆さん、こんばんは。皆様に案内のほうが行ってると思うんですが、今週の土曜日「コミネス」で白河西ロータリークラブプレゼンツ白河第一小学校、第二小学校による音楽の祭典というイベントを行います。10時半から、第一部として白河第二小学校の器楽クラブの演奏を10時半から約1時間程度。午後の第二部で1時半から、白河第一小学校の合唱部と器楽クラブの演奏が行われますので、お時間が取れる方は是非ご参加ください。

■本日のプログラム

食育プロジェクト報告会

○高島裕会長



先週皆様にご参加いただきまして開催された「未来ある子供たちへの食育プロジェクト」報告ということで、今日は写真を交えて説明をさせていただければなというふう感じております。先週参加していただいた皆様には重複する形でのお話になってしまいますが、その辺はちょっとご理解いただいとということで、よろしくお願ひしたいと思います。場所は白河第一小学校で開催されました。10時45分より例会が開始され、第一小学校の食堂を借りてということで始まりました。食堂の中でこのような形で例会を開催させていただいたわけですが、30名の方が参加をしていただきましたという形でございます。学校も古くて隙間風なんかも吹きながらという感じですが、日中ちょっと日が差してましたので、温かい環境で例会を開催することができました。その中で永野会員と金田会員のほうには表彰のほうが届いておりましたので、そちらをお渡しをさせていただきますということで、本当に財団そして米山、そういった諸々に寄付をされている皆様、本当にありがとうございます。皆様のご厚意に心より感謝申し上げます。その後、堀田青少年委員長から先程お話がありました1月28日の音楽の祭典の告知がございました。こちら午前と午後との二部制になっておまして、堀田委員長はじめ9時半くらいから準備を始めるということで、私も参加させていただきたいと思ひます。お手伝いよろしくお願ひします。時間のある方は是非こちらのほうも参加していただければなと思ひますので、どうぞよろしくお願ひします。ということで、堀田青少年奉仕委員長より音楽の祭典の告知がありました。その後、藤田プログラム委員長から2月2日は市長を招いての新年会で夜例会になりますというご案内がありました。こちら来週の例会です。来週の例会が夜の例会なりまして、市長がお見えになって30分くらい講話をいただけるということでありますので、是非市長と共にお酒を酌み交わして新年を祝っていただければなと思ひます。どうぞよろしくお願ひします。藤田委員長の後には、S A Aの青木委員長から第一小学校の歴史の説明がありました。食堂の中には、第一小学校の卒業生

が必ず何か記念品として手作りの物を作るというような流れがありまして、青木委員長が今、指を差している方向にあるのがこちらのステンドグラスですね。こういったステンドグラスであったり、前のページにありましたこちら後ろのこの版画というか彫ってある物とか。こういった物が学校のありとあらゆる所に、卒業記念品ということで飾られている状況でございます。その後、食堂の中でちょっと懇談をして、それから時間になりましたので体育館のほうに記念講演ということで皆さんで移動をさせていただきました。そこで演題は「未来ある子供たちへの食育プロジェクト」という名前で、平野記子さんという方に講師をしていただいたような形でございます。子供たちが来る前に講師の名前が間違っているということに気付きました、平野記子さんのノリという字が記号の記なんですけど、糸への紀にしてしまったので、それを学校のほうで慌てて直していただいたというような経緯がありました。そこで講師の名前を間違えて応急処置というような対応にさせていただいております。そこで車田幹事の司会により講演会が開始されました。そこから私が会長挨拶ということで、子供たちにはフードロスをしたくないことや、ロータリーの活動を理解してもらえないように、ロータリーという言葉を知ったことありますかとか、ロータリーはこんな活動をしてるんですよとか、あるいは食べ物を無駄にしないでください、世界には食べ物を食べられなくて困ってる人たちが沢山います、みたいな話を子供たちにさせていただきました。この日は第一小学校の5学年の生徒さんに聞いていただいたんですけど、6年生もお願いはしたんですけど、プログラムの関係でなかなか難しいということだったのでこの日は5年生だけがということになりました。食事に関しては、全学年の子供たちに提供させていただきましたが、こちらの講演会のほうには小学校の5年生だけが対象ということで話を聞いてもらう形になりました。その後、加藤校長先生よりその日のお礼がしたいということでご挨拶をいただきました。子供たちにこういう機会を与えていただいて本当にありがたいというような話でございました。子供たちも今後、こういった活動を自分たちの代になっても継続していただければなというふうな思いであります。校長先生も大変喜んでくれて、校長先生が一番最初に学校給食は食べるというルールがどの学校にもありまして、これはやはり食物の安全性を確認するために校長先生が子供たちよりも30分から1時間早く給食を食べる。そんな流れが学校にはあるようです。その後、平野さんによる食育の講演が始まりました。食べ物を食べる事。そして、食べ物を食べるとどんなふうな事が起きるのかとか、細胞の話とかいろんなお話をさせていただいて、そんなお話を子供たちに説明するためにわざわざ白菜やキャベツや、こういった野菜を買ってきてくれて、子供たちにその野菜がどこのグループの要素に入っているのかとか、あるいはこれがどういう働きをするのかとか、そういった話を子供たちに詳しく説明をしていただいております。その後、こういう形でプロジェクトを使いながら子供たちに食べ物は愛情ですよとか、栄養として体が作られますよ、食べる時に

何かを考えながら食べましょうというようなことで、実際我々もただ何となく食べている時ありますが、物を食べる時に幸せな感じで食べたり、あるいは楽しい気持ちで食べたりすると、それは非常に美味しく感じるんですよというようなお話もしてくれました。子供たちはこんな話を真剣に聞いてくれるような流れがありました。その後、講演が終わると児童代表によるお礼の言葉がありました。子供たちもお礼の言葉を事前に考えてくれたんでしょうけど、この町田さんという女の子なんですけど、この子がクラス代表ということでお礼を言葉を告げていただきました。この後、平野さんに食堂に戻りまして、謝辞と謝礼をお渡しして本当に今日はありがとうございましたということで、お話していただいたことに感謝を申し上げたところでもあります。その後、食堂に子供たちが順番に学年ごと、やっぱり1年生から順番に食堂に給食を取りに来ます。その場で、いただきますのポーズがあるんですけど、これはたまたまロータリークラブがお肉を提供したからいただきますをしているのではなく、普段から給食を作っている方々に対しても地域の方々に対しても、こういった形でいただきますということで、全学年が毎日このような形で給食のたびに組み入れているというお話でございました。その後、私は教室のほうに子供たちが食べている様子を写真撮影に行きました。これは5年生のクラスにお邪魔させていただいたんですけど、こういった形で今は食堂を使わずにクラスで皆さん食べてるんですね。自分で食べられる分量のご飯をよそって、自分で残しそうなものは最初に少し削るとかそういった形で、既にフードロスなんかには取り組んでいるような形が見受けられました。さすがにこの日はステーキ給食ということで、子供たちも随分舞い上がってはいましたが、なかなかこういうものを食べられないんだよ、嬉しいねなんていう話をしていたのが、やはり頭の中で今でも残っております。いよいよお待ちかねの我々のほうの給食になります。この日のメニューは地産地消献立ということで、麦ごはん、県産牛サーロインステーキ、エビと香草のサラダ、コンソメスープ、県産リンゴゼリー、牛乳ということで、子供たちと同じような献立になっております。当日使ったお肉なんですけど、これは福島県産の和牛のサーロインと肩ロースのちょうど間くらいなんですけど、このお肉を使わせていただきました。お肉に関してはこれ素晴らしいお肉だったんですけど、やはり焼肉とか、あるいはすき焼き、しゃぶしゃぶ、そういったものにするのには最適だったんですけど、学校給食にするのにはちょっとお肉が良すぎた感じかなというふうな感じがありました。というのは、学校給食は学校の中でやはりルールがありまして、給食に関しては85度以上の温度で芯に火が通るまで加熱しなければいけないという決まりがあるらしく、これを我々は普段レアとかミディアムくらいで食べるようなお肉ですので、実際食べて火を完全に通してしまうと、お肉が締まって固くなってしまおうというふうな欠点がありました。次回、こういった形で何かある時にはスライスした薄めのお肉を炒めて焼肉にしてあげたほうが良かったのかなというふうなことが、今回の反

省材料というふうなことで感じております。写真、献立はこのような形で、先程名前を挙げたものが一つのプレートにということで給食というふうな扱いで。子供たちと同じ給食食べました。ちなみに、今回ステーキのお肉はクラブのほうから地区のほうからも提供されておりますので、そのお肉の代金は別としても、このお肉じゃなく別のものだとすると、我々が学校に申し込んで食事をしたい、給食を食べてみたいというふうな事でOKが出れば、1食308円で食べられるということでございます。なかなか学校のほうもうんとは言ってくれないんですが、今回こういう形で学校のほうにお肉の協賛させていただきたいということで申し上げたところ、ありがとうございますということで我々30人分のお食事と一緒に作っていただいたということでございます。金額というの、皆さんにはある程度頭に入れていただければなと思っております。この308円というのが高いのか安いのか、これは皆さんの個人的な感覚がいろいろあると思いますので、この金額が高い安いは別として感じていただければなと思います。1食このくらいのもを子供たちが食べてますよということ。先程、金額の話になって1食が308円で、ちなみにこのお肉が写真出てるので2人前になります。これ左側一つ右側一つづつで一人前という扱いをさせていただくと、一人当たりのお肉が今回はこれは約700円位です。この皆さんがその間召し上がっていただいたお肉で700円位。給食自体は1,000円の給食だったというふうに認識していただければなと思います。ですから、子供たちにとってはすごい贅沢なお肉だったなという感じだと思います。それから、さぞかし懐かしかったでしょうということで写真を載せていただきました。本当にこれ写真を見ると、永野さんだったり関谷さん、孝幸さん、吉成さん、池田さん、皆さん多分給食を食べてた頃を思い出されたんじゃないかなと思います。多分変わってないのが牛乳が付いてるということ、あとは今ご飯は基本的に麦ごはんがほとんどらしいですね、子供に聞いたんですが、ご飯の日とパンの日、あと麺の日があるらしいですが、ご飯の日は基本麦ごはんらしいです。やはり、子供たちの健康に気を使ってということで、こういった形で麦ごはんが提供されております。本当に給食、何十年ぶりに食べましたが、なんか悪くないなというふうには感じはありましたね。その後、片付けとリサイクルということで、給食の流れとしては片付けとリサイクルまでが給食なんですよということで、学校のほうで取り組んでおりました。今、これ写真のほうに出ているのは飲み終わった牛乳パックをばらして束ねるという作業なんですけど、ここまでは食事の終わりだということで、学校のほうではこのような取り組みをしているということで、逆に我々のほうもリサイクルに関しては見習わなければいけないのかなというふうに感じております。やっぱりごみの仕分けというのも、福島県は多分全国でも最下位のほうに入っていると思います。なので、我々が率先してリサイクルに関しては進んでいかなければいけないということも、これも奉仕の一つなのかなと感じております。そして、これは福島民報なんですけど翌々日の新聞に掲載

されましたので、こちらのほうを載せさせていただきました。こちらには、「県産食材の魅力体感、白河一小児童」ということで、白河西ロータリークラブが「未来ある子供たちへ食育プロジェクト」ということで、約60人の子供たちに食育インストラクターの平野さんが講演しましたよということと、クラブのほうで送った県産牛のステーキが提供され、児童は県産食材の魅力を体感しましたということで、新聞にも掲載されておりましたので皆様にもご報告させていただきます。ということで、子供たちは本当に楽しみにしていたようであります。そして、この後私は子供たちというか学校のほうにアンケート用紙を配ってありまして、実はそのアンケートの中身なんですけど、朝ごはんを食べますかとか、あるいは給食好きですか、好き嫌いありますかとかという質問を幾つかさせていただきました後に、やはり最後にロータリーという言葉聞いたことがありますかというふうな質問も入れさせていただいてあります。ロータリーは我々はこういった団体で、日本だけではなく世界に向けて奉仕をする団体であって、そういった気持ちの人たちが集まったグループなんですよということを入れた後に、質問の最後に皆さんも大人になったら大きくなったら人に尽くすような人になりたいですかという質問も投げかけてみました。当然アンケートの結果も、地区のほうに報告をさせていただくわけですが、この取り組みが地区のほうの皆様にとって、西クラブとして活動した奉仕事業の一つが良いものだったというふうに評価されるように、アンケートも含めきっちり報告していきたいなというふうに感じております。また、学校で会う子供たちは我々が行っても元気よくこんにちはという挨拶をしてくれたり、あるいはごちそうさまでした、美味しかったよという言葉も投げかけてくれました。そんな子供たちを見てると、我々も本当にこういった子供たちの為に今やれることを少しづつやっていかなければいけないのかなということも感じておりましたので、その辺は皆様にご報告をさせていただきますと思います。当日、午前10時半集合、10時45分の例会開会ではありましたが、わざわざ移動例会の場に皆様にご参加いただいて、そしてちょっといつもの例会よりも時間は長くなってしまいましたが、皆さんと共に第一小学校で奉仕事業ができたこと、本当に心より感謝を申し上げたいと思います。クラブの皆さんには今後とも様々な事業でお世話になっていくと思いますが、これがゆくゆく地域の為、そして我々の為にもなる事だと思います。そう信じておりますので、今後皆さんにとって活動参加出来るようなことがあれば、進んで参加をしていただければなと感じております。ということで、先週行われました食育事業に関して簡単に写真付きで報告をさせていただきました。ご参加いただいた皆さん、そしてクラブの皆さん、日頃よりクラブの奉仕活動にご参加ご協力いただきまして、心より感謝申し上げます。ということで、簡単ではありますが先週の食育事業の報告とさせていただきます。

○吉成真五郎会員



皆さん、こんばんは。3分間くらいというお話だったので、ちょっとお話をさせていただきます。事前に私どんな内容のプログラムかわからないで参加しまして、第一小学校行って給食食べて帰ってくるんだくらいな感じで参加しました。最初行って思ったのは、第一小学校は私初めてだったんですけど、大変歴史のある学校とお聞きしてましたけども、中に入って校舎が大変こうなると言うんですかね、50年前くらいなのにモダンな造りというか、凄い凝った造りで、うちの娘はみさか小学校だったのでだいたいその学校によって造りは違うんだと。これから4年くらい経ったら建て直すというお話だったので、綺麗な校舎になるんだと思うんですけど、なかなか凝った校舎を取り壊すのももったいないなというふうに感じました。当日30分から40分くらいですかね。食育に関するセミナーを聞いて、それから食事という形になったんですけど、子供たちが先程セレモニーというんですかね、各学年の給食担当の児童の方が来て、作っていただいた方に挨拶をきちっとしてから給食を運ぶというのが、私たちも小学校中学校、給食を食べてきましたけれども、そういった事はあまりやった記憶がないので、すごく礼儀正しいというんですかね。第一小学校の指導というか、食に対する姿勢というのはすごく進んでるといいますか、いいなというふうに感じました。当日の給食ですね、先程会長仰られましたように大変美味しいお肉、福島牛のサーロインステーキで美味しかったです。ただ、先程のお話にもありましたようにちょっと固めだったので、やっぱりすき焼き風にこうなんか柔らかいとか食べやすく、あとできれば白河の野菜も使ったような献立だったら良かったかなんていうふうにちらっと思いました。先程給食1食308円ってありましたが、私は思うんですが今、ウクライナ戦争とかそのエネルギーの問題とかありまして、大変今インフレというんですかね、何でも値段が上がってます。私職業柄でお蕎麦屋さんとかで食堂の方のお付き合いも多いんですけども、天ぷら揚げの油が物凄く高騰して大変だと。もちろん小麦粉もそうですし、いろんな物が今どんどん値上がりしてて来年以降多分一割とか二割とか、あと燃料費も上がってきますからトータルコストで今の308円でやろうとすると、どうしても中身が乏しくなっていくんじゃないのかなというのを危惧しております。栄養士さんがいろいろ献立考えると思うんですけど、食事ってすごく大切だと思いますので、多少ですね予算を考えていかないといけないんじゃないのかなと。高畠会長とか議会のほうとかやられて、そういう問題意識も持たれてると思うんですけども、その辺もちょっと大人が気を使っていけないんじゃないのかなというふうに考えました。なんか最近は食事も虫というんですかね、コオロギをなんか加工して食べるというふうな、もう出てき

ているみたいで、今までとこうなんか違うね、昔は私たちもイナゴとか食べてましたので、コオロギ食べるのが全くおかしいということではないのでしょうか、これからやはり食事というのにつきましては変わってくるのかなというふうに感じております。先程申しあげましたけども、娘がみさか小だったんで私もPTA会長4年間ほどやらせていただいたんですけども、そういう立場から考えても今回のプログラムは子供たちにとっては凄く刺激のある良いプログラムだったんじゃないのかなというふうに思っております。今回第一小学校でしたけども、是非みさか小とか他の小学校にも出かけて行って、今回のようなプログラムを子供たちに提供できればなというふうに感じました。簡単ですけども、わたくしの感想を述べさせていただきます。

○池田浩章会員



皆さん、おばんでございます。3分くらい喋れというんですけども、私話し下手なので3分も喋れないと思いますけど、よろしく願います。一応わたくし第一小学校OBでございます。私が通ってたのはもう64年前ですか。今、私70ですから。もう64年前になるわけですけども、今の市役所のある所にあったわけですね、第一小学校が。先程、食事のこと出ましたけども、わたくし食事あれ食べて、なんか昔のほうが沢山料理が出たんじゃないのかなという気がしました。思えば所得倍増どうのこうので、経済がどんどん良くなっていく時代でしたので、むしろ食事のほうは良かったんじゃないかなという気がしております。この前食べた食事ですけども、ちょっと物足りないなと、食べて。大人だからそうなのかもしれませんですけども、それにしても少なかったんじゃないかなと。本当にお肉を提供されたのかなって。308円の中に含まれちゃって、その分ちょっと食事が少なくなっちゃってるのかななんて思ったりもしましたけども。それはなかったですよ。そんな感じでやっぱり今の時代にしては、食事的には中身がもうちょっとあってもいいなという気はしました。それで、学校もちろん私らの時は木造であったわけですけども、やっぱり当時今の第一小学校建てた時はコンクリート打ちっばなしという、本当に近代的な建物で斬新なデザインで、私も入ったことがなかったんですね。職員室までは行ったんですけども、ああいう教室とか体育館とかそういった所には行ったことがなかったので、本当に当時としては斬新な建物であったんじゃないかなと思います。ですから今回、私が卒業して壊されてまた今年4年後壊されるということで、本当に寂しいなという感じがいたしました。ちょっと体育館とか残しておいても、建築物的にはい

いんじゃないかなという気もいたしました。なかなか第一小学校という、やっぱり白河ではある意味エリートコースみたいなところがあったわけですが、それがこう二度も三度も壊されてなくなっていくというのは本当に寂しいなとOBとして思いました。

○関谷亮一会員



皆さん、こんばんは。今回の食育プログラム、大変理に叶ったプログラムだったなというふうに思います。私も食べる物を作っている一人として、本当に食べる物というのは大変重要だというふうに考えております。私も今から12年くらい前から第一小学校ではないんですけど、学校給食センターのほうに人参を11月から2月いっぱい、3か月くらい子供たちに食べてもらっているんですが、やはりあの考え方としては美味しく食べられるものというのは体に絶対良いという、私も若い時からそういう考え方で進んできてるわけです。いわゆる皆さんも気になったことあると思うんですが、医食同源という言葉があるわけですね。良い食をやれば医療と同じだしんどぶじという考え方ですね。韓国風に言うと、身土不二しんどぶじという言葉がありますけど、そういう事だと思っただけです。今回、この食育のこういうプログラムを第一小学校において行えたというのは、会長はじめ担当した皆さんに大変敬意を表したいと思います。私も第一小学校しばらくぶりで、50年ぶりに行きました。当時28歳で永野さんとも話しましたが、あそこ打ちっぱなしのコンクリートというのは初めてだったんですね。当時はトラブルばかり起きて、水道管とガス管を間違えて繋いで水を出したという、そういうエピソードもあるわけですが、私もアルバイトで28歳の時に毎年冬の間だけ車の運転手で白一小現場へ行った記憶があります。大変懐かしく思いました。

○居川孝雄会員



今回の3月15日の確定申告についてのお話なんですけど、今、法律相当いろいろ変わっております。皆さん方にとりわけ関係するものでいくと、まず贈与税というものがございまして、一人当たり110万まではご家族とかお孫さんにお金やっても無税なんですね。それが撤廃になるかなという方向性と、あと一つは相続の時に生前3年前にやった贈与については持ち戻して相続税に足さなきゃいけないんですね。お孫さんに100万円づつ3年間やって、その贈与税はかからないんですけど相続の時に3年間だけ300万を相続財産に足すというルールがある。これが10年になる可能性が出てきたということです。ですから、今のうちに早めにお孫さんとか子供さんの贈与する方は、110万の枠を使って今のうちやっておけば3年以降経てば4年目以降は全部相続加算しませんので、この辺はちょっとご注意ください

て。あとは高額のお金をお持ちの方は子供の教育費。要は、生まれてから大学卒業するまでに22年間、前払いで1,500万銀行に預けて教育資金として使うという贈与の制度もございまして、これも大体廃止の方向になっております。あとご家庭で一番庶民的な感覚で行きますと、医療費控除というのがございまして、あれは世帯課税でございまして、一人が10万じゃないんですね。奥さんと子供さん同居してれば、家族みんなで領収書を入れておけばいいんですね。大体、皆さん病気はしないと仰るんですけど、結構年末近くに歯医者にかかっちゃったとか。そうすると、今までの千円、二千円のも取っておけば、15万とか20万になって控除できたのということがございまして、是非今年の1月1日から家の電話ボックスの脇に箱を置いて、医療費みんなここに入れろよというふうな習慣をつけておくと、思わぬ後半戦の支出の時に役に立ちます。あと、本日今日金田さんといいただきました寄付金の控除ですね。これもロータリーとかの関係の寄付、その他にふるさと納税というのがございまして、10万円あげると大体3万円、30パーセントくらいの物を一時金で返礼されるんですけど、松坂牛とか伊勢海老が来るとかございまして。物を貰って、尚且つ寄付金控除が受けられるということで、これなんかも利用される方がいるんですけど、中には物欲しさに50万寄付しても自分の所得が低いと全部控除できなくて切り捨てになってしまいます。ですので、この辺はちょっとお調べになって自分の満額の適正な寄付額というのを幾らかとこのお調べになるとよろしいかと思っております。あと一点。今日はちょっと年配の方が多いんですけど、若い人に言うのには個人型の確定拠出型年金。属に言う401kとか。東京海上さんいらっしゃいますけど、個人型で積む年金ですね。これが結構若いうちから積んどくと、仮に所得税率10%の人が一年間に10万円積みますと1万円が税金安くなるんですね。銀行さんに、寺島さんに怒られちゃいますけど、10万円積んで1万円も利息付かないですよ。所得税として税を1万円安くなるわけですから、考え方によっては10万円貯金じゃなくて10万円で他のほうで1万円安くなる。尚且つ60歳を過ぎ、私なんか65歳で貰えるんですけど、思わぬ時に一時金で入るとか年金で入るという制度もございまして、是非まだ50代前後の方は401kとかという年金なんかも入って節税する方法もあるかと思っております。今日は急遽言われたものですから、資料もないんですけど今後引き合いがあればじっくりご説明させていただくということでお許しただいて、3分間スピーチにさせていただきます。ご清聴ありがとうございます。